

平成23年行政事業レビューシート

(文部科学省)

事業名	学術研究支援事業		担当部局庁	研究振興局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成5年度～平成22年度		担当課室	学術機関課		学術機関課長 澤川和宏		
会計区分	一般会計		施策名	IX-1 学術研究の振興				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	-				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	動物実験施設や機器分析センター等の大学等における学術研究支援組織に対し、学術政策の動向や遵守すべき規則等についての周知・啓発を行い、我が国の学術研究の水準の向上を図る。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	各学術研究支援組織の代表者が参加する会議等へ職員等を派遣し、実施する。							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)			20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
	予算 の 状 況	当初予算	2.9	2.6	2.7	-	-	
		補正予算	0.0	0.0	0.0	-	-	
		繰越し等	0.0	0.0	0.0	-	-	
		計	2.9	2.6	2.7	-	-	
		執行額	2.6	3.3	2.4	-	-	
	執行率(%)	89.7	126.9	88.9	-	-		
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)
	本事業は、我が国の学術研究の水準の向上を目的として事業を進めているため、成果を定量的な指標で示すことができない。		成果実績	-	-	-	-	-
			達成度	%	-	-	-	-
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	学術研究支援組織の代表者が参加する会議等への出席		活動実績	実施回数	7回	6回	11回	-
	今後の学術研究の推進に関する勉強会		(当初見込み)	実施回数	9回	3回	2回	-
単位当たり コスト	58(千円/回)		算出根拠	学術研究支援組織の代表者が参加する会議等への出席 執行額/実施回数=638千円/11回				
	31(千円/回)			今後の学術研究の推進に関する勉強会 執行額/実施回数=62千円/2回				
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	-	-	-	-				
	-	-	-	-				
	-	-	-	-				
	-	-	-	-				
	計	-	-	-				

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途、費目	—	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	—	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>・本事業に係る経費は、文部科学省において直接執行しており、会計規則に基づき適切な処理に努めている。</p> <p>・活動内容については、復命書により把握している。</p> <p>・予算執行に当たっては、緊急性や必要性に基づき購入物品の選別を進め、効率的な執行を行った。</p> <p>・本事業は、平成22年度の行政事業レビューにおいて、類似の事業が存在していることからいったん廃止して整理統合するとともに、効率化を図るなど予算を縮減すべきとの指摘を受けたことから、平成23年度より、職員等を派遣する他の類似事業と整理統合し、会議等出席案件をより重要なものに絞って重点化するなどにより予算を縮減し、効率化を図ることとした。</p>		
<p>平成21年度レビューの指摘を踏まえ、平成22年度をもって廃止の上、他事業と整理統合している。</p>			
<p>上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)</p>			
<p>補記(過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)</p>			

A. 文部科学省
2. 4百万円

諸謝金 0.2百万円
職員旅費 1.4百万円
委員等旅費 0.2百万円
庁費 0.6万円

〔 学術研究支援組織の代表者が参加する会
議への出席及び外部有識者との意見交換な
どに必要な旅費、諸謝金等を措置 〕

資金の流れ
（資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する）（単
位：百万円）

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

A.文部科学省			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
職員旅費	会議や勉強会等に出席する職員へ支出する旅費	1.4			
図書・購読費	図書・雑誌や定期刊行物の購入費	0.6			
委員等旅費	会議等へ出席する外部有識者等へ支出する旅費	0.2			
諸謝金	会議等へ出席した外部有識者等へ支出する謝金	0.2			
計		2.4	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0